備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

（平成21年度事業）

事業の概要

事業開始年度			平成12年度(実質平成11年10月)	根拠法令・例規等	介護保険法
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり	問合先 担当課（室）	介護福祉課
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり	職・氏名	介護保険係長　玉野直美
	小項目	施　策	05 介護保険	電　話	0869-64-1828
事務事業名			03 介護保険計画策定趣旨普及事業	このシート作成に要した時間	3.0 時間

事業の目的

対　象（誰・何に対して）	要介護・要支援認定者及び介護者
目　的（何のために）	介護保険事業計画を策定し、各年度の介護保険サービスの見込み等をたてるとともに、介護保険制度について市民への周知を図る。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	３年ごとに介護保険事業計画を策定する。 第４期介護保険事業計画(平成２１年～２３年度)の進捗状況の把握及び成果の検証を行う。 介護保険制度について広報、パンフレット等により制度の周知を図る

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業の実績

目的を達成するため実施した事業

細事業名	事業の説明	優先度
趣旨普及事務	制度普及の説明会の開催や広報・HP・パンフレット等で市民に情報提供をする。	◎
計画策定委員会事務	第４期介護保険事業計画の進捗状況と効果について検証し、次期につなげる。	○

事業費等

決算額		事業費等	単位	平成19年度実績		平成20年度実績		平成21年度実績	
事業費		直接事業費	千円	638		1,348		2,436	
		必要人員　人件費	千円	0.09人	712	0.35人	2,791	0.23人	2,084
		事業費計	千円	1,350		4,139		4,520	
財源		国県支出金	千円					2,296	
		受益者負担	千円						
		繰入金	千円						
		市債	千円						
		その他（　　）	千円						
		一般財源	千円	1,350		4,139		2,224	
受益者負担比率			%	－		－		－	

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

結果指標

結果指標	結果指標名	単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
		説明	制度普及の説明会		
	結果指標量	事業	12	22	22
	対前年比	%	－	183.3%	100.0%
	活動コスト	円	248,000	531,000	80,000
	単位当たりコスト	円	20,667	24,136	3,636

事業の成果

成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
制度普及の説明会	目標値（A）	10	10	10	22
	実績値（B）	12	22	22	到達目標値
	達成率（B/A）	120.00%	220.00%	220.00%	22

成果指標設定の考え方・式や説明

民生委員会（８箇所×年２回）・ケアマネージャーの集い（奇数月）等で制度普及のための説明会を実施した回数

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい

事務事業の評価

妥当性の評価

- 市の関与の妥当性
  - ☑ 市が実施するよう法令で義務づけられている
  - ☐ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
  - ☐ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
  - ☐ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- 必要性
  - ☐ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
  - ☑ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
  - ☐ 事業開始当初の目的から変化してきている
  - ☐ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
  - ☑ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある
- 市民ニーズ
  - ☐ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価 <A～E>：**A**

効率性の評価

- コスト
  - ☑ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
  - ☐ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
  - ☐ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
  - ☑ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- 手段
  - ☐ 受益者負担率は適正である
  - ☐ 受益者負担率を見直す余地がある
  - ☐ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
  - ☐ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
  - ☑ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価 <A～E>：**B**

有効性の評価

- 目的達成度
  - ☑ 成果指標の設定は適切である
  - ☑ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
  - ☑ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
  - ☐ 成果指標達成率は80%未満となっている
  - ☐ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
- 市民参画度
  - ☑ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
  - ☐ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
  - ☑ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価 <A～E>：**B**

進行年度（H22年度）の改革改善内容

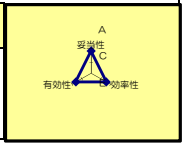
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：第４期介護保険事業計画の２年目のため、計画の進捗状況報告をする。また、趣旨普及については、２１年度に介護全般の内容を盛込んだパンフレットを作成したので十分に活用する。ＨＰは、引き続き分かりやすく、見やすい内容の情報提供ができるよう取組む。

総合評価

第４期の制度内容を網羅した備前市版パンフレットを作成した。
また、民生委員協議会やケアマネージャーの会へ積極的に参加し啓発に努めた。

評価区分 <A～E>：**B**



平成23年度の方向性 及び 取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

取組目標：第５期事業計画策定年のため、第４期の検証をすると同時に方針を決定していく。